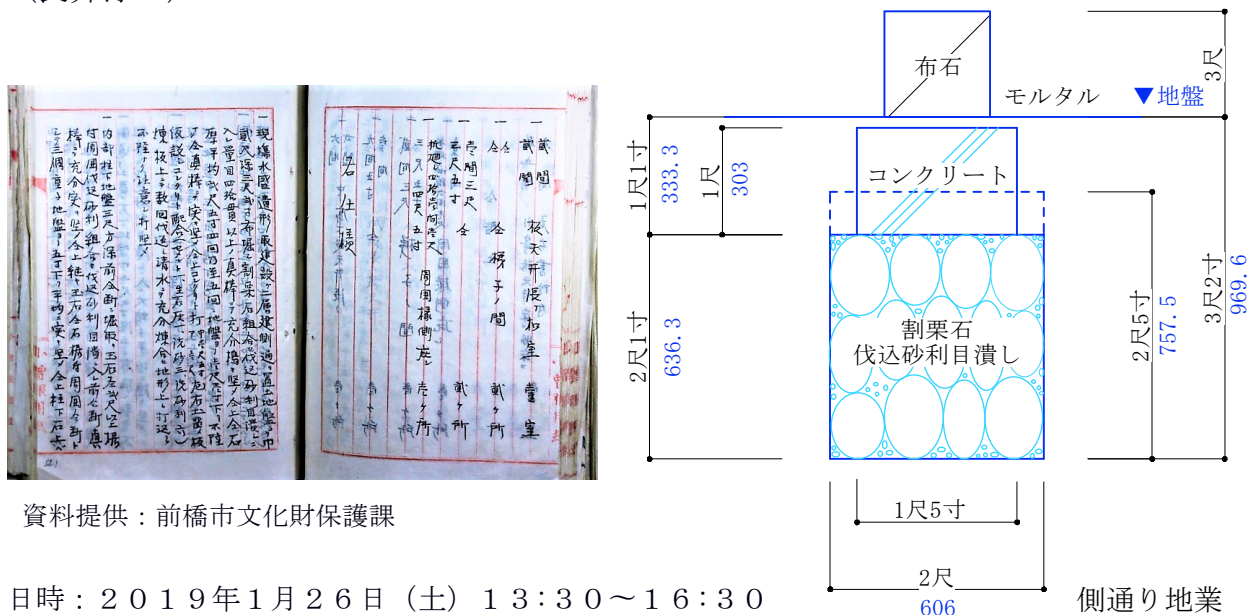


第4回テーマ「設計図一考（文書の翻刻と図化）」

建物の設計図は、手書きからCAD、2Dから3Dへ、さらにBIMへと大きく変わろうとしています。建築は情報化され、3Dモデルで誰とも容易にイメージを共有でき、さらに、コスト・性能・ライフサイクルまで一元データで把握することが可能になりました。

さて、ここで少し過去・明治期に遡ってみます。当時は現在のような詳細な設計図はなく、それに代わるものとして、仕様書、内訳書及び簡単な図面（以下仕様書等）で建物が造られていました。国指定・臨江閣別館（明治43年/1910）は1,000㎡を超える大規模木造建造物ですが、詳細図面は無く、仕様書等で建てられています。建築に携わった技術者は、仕様書、つまり文言で建物の造りを理解したのですから、リテラシーの高さに驚かされます。

今回のGA・TALKでは、臨江閣別館仕様書「群馬県行政文書 貴賓館建築工事仕様書」を読み、図化にトライします。建築職能について改めて考える機会となれば幸いです。
(長井淳一)



資料提供：前橋市文化財保護課

日時：2019年1月26日（土）13:30～16:30

開催場所：前橋臨江別館 1階洋室（受付13:00～）

第1 部・GA 見学会（臨江閣別館）13:30～14:10

第2 部・GA トーク 14:15～15:00

臨江閣別館仕様書の翻刻・図化について説明します

講師：長井淳一

第3 部・GA ディスカッション 15:00～16:30

講義を受けて、少人数のグループに分かれ、仕様書の読み取り、図面化を行います

公益社団法人
日本建築家協会
関東甲信越支部
群馬地域会



お申し込みは JIA 群馬クラブHPから URL: jia-gunma.typepad.jp/jia/